

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 新更別地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「更別村田圃環境整備マスタープラン」より）

【現状】

河川は村内を概ね南北方向に緩やかに猿別川に合流し、十勝川を経て太平洋に注がれている。

一部に原生林をとどめる地域もあり、自然環境保全地区として周辺用地を購入し環境保全に努めている。

【課題】

農村空間を活用し地域に根差した個性的な環境づくりが課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》（更別村「田圃環境整備マスタープラン」より）

河川の親水機能・景観性を保持し、自然生態系や自然浄化力の維持に配慮しながら、自然と共生した農業基盤整備事業を展開していく。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

本地区の予定路線は道路沿いや農地内に配置することを基本とするが、一部区間で防風林に隣接又は防風林を横断する。このため、整備の影響を踏まえ、新設排水路と防風林の交差部を代表地点として調査を実施する。

○ 調査項目の考え方

既往調査結果の活用を基本とする。ただし、本事業で想定している整備によって、生態・生育環境に直接影響を与えることが想定される植物及び排水先の河川既往調査が行われていない水質について現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①植物 ②水質

○調査方法 植 物：植物相調査
 水 質：濁度、SS